

夏休み前の学校生活の様子から

1年生 防犯寺子屋

6月3日（木）

こうなん防犯寺子屋隊の方々が、楽しくわかりやすく説明してくださいました。



5年生 田植え体験

子どもたちが稲の様子を観察し、水温を管理して大事に育てたら、稲はこんなに大きくなりました。

6月11日（金）田植えの様子



8月23日（月）現在の稲の様子



たてわり活動

6月30日（水）

今年度初めてのたてわり活動は、自己紹介しながら進めてペア学年の上級生がリードしながら異学年交流を深めました。



6年生 丸山台中学校ブロック子ども会議

7月8日（木）

各校で今年度の横浜子ども会議のテーマ「だれにとっても居心地のよい学校づくり」で取り組んできたことについて報告し、今後各校で取り組めそうなことについて話し合いました。



「子ども・学校を見つめて ～児童支援専任だより～」

児童支援専任 森 洋介

延期された長期休業が明け、分散での登校開始になりました。日々刻々と変化する日常の中、「これからどうなるのだろう」と、子どもたちも不安な気持ちを抱いているかと思います。何か心がすっきりとしない・・・マスク生活ゆえに互いの表情もはっきりと映らない・・・見通しが立たないときの心理は、子どもも大人も同じことだと思います。

このようなとき、「できた」「良くなった」ことを、しっかりとらえてあげ、ひとこと声をかけてあげることが、子ども、そして子どもを支える大人にとっても大事な「心のケア」につながると思います。ほんの小さなこと、例えば基本的な生活習慣に関することでよいと思います。日々の挨拶、お手伝い、そして、手洗い、うがいなど衛生に関することでもよいでしょう。いつもやっていることだからではなく、「～を手伝ってくれたから助かった！」「手あらいは大事だね。」など、普段の何気ない行動に価値づけをすることで、子どもにとって小さな幸せが芽生えます。さらに、声かけをした大人も、子どもの笑顔によって温かい気持ちになれると思います。

私も専任として、学校再開後の子どもたちの姿を見守り、子どもの心を支えることに努めていきたいと思っています。ご家庭でもぜひ、互いの「心のケア」につながる声かけを実践してみてください。